

自然環境部会報告について

◆平成 28 年度明石市ため池調査結果（概要）

No	池名	所在地	確認した絶滅危惧種	備考
1	某池	某所	タヌキマメ、ゴマクサ、アンペライ、マ ネキシシジュガヤ、ミズトンボ	耕作者(所有者)は神戸市西区平野町 中津に在住
2	某池	某所	サデクサ	サデクサ 4 カ所
3	某池	某所	サデクサ	サデクサ 3 カ所
4	某池	某所	フトイ、カワセミ	フトイの生育環境は安定している
5	某池	某所	イヌハギ	明石市では初記録
6	某池	某所	アンペライ	住宅開発工事に伴いアンペライを移 植、生きたドブガイを確認
7	某池	某所	イチョウウキゴケ、ムスジイトンボ	過去にフトイ、アンペライの記録
8	某池	某所	モロコシガヤ(20 株)	過去にフトイの記録、広大な堤体
9	某池	某所	ウキシバ、ツマグロキチョウ	ヌートリアが生息
10	某池	某所	フトイ	
11	某池	某所	オニバス(2 株)	
12	某池	某所	サデクサ	水利が明石市、サデクサあり、春にコイ ヌガラシ、コギシギシが群生
13	某池	某所	ゴキヅル、ドジョウ	かつて水草が豊富
14	某池	某所	ゴキヅル	
15	某池	某所	オニバス(1 株)	オニバスは初記録

※ため池の選定基準 ①希少種の見られる池>②生物多様性の高い池>③豊かな自然環境に恵まれている池  
(25箇所のため池を調査、うち15箇所において何らかの絶滅危惧所を確認)

◆確認された絶滅危惧種リスト

種名	県	近	環	種名	県	近	環	種名	県	近	環
サデクサ	C	C	—	オニバス	B	C	VU	タヌキマメ	—	C	—
イヌハギ	C	A	VU	ゴキヅル	C	—	—	ゴマクサ	B	A	VU
ウキシバ	—	C	—	モロコシガヤ	C	C	—	アンペライ	B	C	—
フトイ	調	—	—	マネキシシジュガヤ	C	—	—	ミズトンボ	C	C	VU
イチョウウキゴケ	—	—	NT	カワセミ	注	—	—	ドジョウ	B	—	DD
ツマグロキチョウ	注	—	EN	ムスジイトンボ	注	—	—				

注) 県: 兵庫県 RDB、近: 近畿 RDB(植物)、環: 環境省 RDB  
 EN: 絶滅危惧 I B 類(A ランク相当)、VU: 絶滅危惧 II 類(B ランク相当)、NT: 準絶滅危惧(C ランク相当)、  
 DD: 情報不足(要調査相当) 調: 要調査、注: 要注目(絶滅危惧に準ずるもの)



タヌキマメ 近C



ゴマクサ 県B、近A、環V U



ミズトンボ 県C、近C、環V U

No.0 「無名池」



イヌハギ 県C、近A、環V U No.15 「藤治池」



オニバス 県B、近C、環V U No.103 「新池」



アンペライ 県B、近C No.37 「喰池」 アンペライの移植作業



## 生物多様性あかし戦略推進会議について

### 1 開催状況

明石市では、平成23年3月に「つなごう生きもののネットワーク 生物多様性あかし戦略」を策定している。計画上「生物あかし戦略推進会議」を設置し、計画の推進に向けた体制を構築することとなっているため、昨年度より開催に向けて準備を行い、これまでに5回の会議、1回の観察会、1回の希少種保護活動を実施した。

### ※平成28年度 推進会議の開催・活動状況

2月20日(土) 第1回	明石市環境総務課及びエコウイングあかし会員による会議。 会議のテーマに関する議論。 「水辺の生きもの」をテーマにすることを確認した。
3月9日(水) 第2回	会議の開催・推進体制について議論。下記の内容について確認した。 ・環境総務課、エコウイングあかしが核となり、明石の環境に関わりの深い個人・団体に、計画段階から会議に参加していただく。 ・上記メンバーで行った会議の内容により、その後のメンバー構成は変わっていく。 ・「推進会議を通じて、何ができるか」は、集まるメンバーの権限・能力によるところが大きい。 →推進会議のあり方は、参加するメンバーによって変わっていく。 →推進会議は、参加したメンバーの活動を、調整、方向づけていく役割があるのではないかと期待する。
7月22日(金) 第3回	会議メンバーを市の関係各課（農水産課・海岸課・緑化公園課）、専門家集団（日本野鳥の会ひょうご、兵庫・水辺ネットワーク、中学校理科教材研究・開発グループ）に拡大。 明石の自然環境に関する認識（概観）をふせんによるブレインストーミングで共有した。
8月22日(月) 第4回	共有した認識に基づき、「新たにすぐ実施できそうな事業」について模索。「明石版レッドデータブックの作成」「拠点の整備」等の意見が出された。 一方で、それらの意見は即応できるものでないので、即応すべき事案や、対策がないのか確認するため「水辺観察会」を実施することとした。
9月4日(日) 水辺観察会	藤江海岸、請池、主池、上池（松陰新田）にて、希少種やその保全状況について観察会を開催。松陰新田で保全活動が低調である等の意見が出された。
11月2日(水)ほか アンペライの保護	環境総務課に、 <sup>はみがいけ</sup> 喰ヶ池の埋め立てにより、希少種のアンペライが影響を受ける旨の情報が寄せられたため、参加メンバーや開発事業者、関係者と共にアンペライの移植作業を行った。（別紙）

<p>11月2日(水) 第5回</p>	<p>提案のあった事業について考察。市から具体的な事業について提案。</p> <p>特に「明石版レッドデータブック」の作成について議論。県で詳細なレッドデータブックを策定していること、策定した近隣市町では数百～数千万円の費用がかかること、策定後に戦略推進に資する活動につなげられていないことから、国・県で策定するようなものを目指すのではなく、レッドデータブック作成の趣旨として挙げられていた「情報の集約」「啓発」を達成するような施策（例：明石の希少な生き物 10 選）に絞り込めないか提案したが、参加者からは理解を得られなかった。</p> <p>そのため、集約したデータの公表方法や活用方法はおき、まず、情報の集約に向けて作業することを確認した。</p>
-------------------------	---

## 2 今後の予定・課題

- ・ 1月31日（火）に第6回の推進会議を実施し、市で保有するデータの確認と、データ集約方法等について情報共有する。今後は当面、情報の集約についての作業を推進していく。
- ・ 希少種の保護等、緊急を要する情報を入手した場合は、必要に応じて会議参加メンバーと協議し、対策を実施していく。
- ・ 今後の課題としては、開発等の影響を低減させることや啓発活動に利用する等、集約した情報の活用についてが挙げられている。
- ・ また、情報の共有以外の論点も多々残されており、テーマを絞って議論しつつも、重要であったり、緊急性が高いような案件を取りこぼさないように配慮する必要がある。

## 3 活動の様子

